

各 位

平成 26 年 9 月 9 日

株式会社ビーマップ

個人投資家向け会社説明会 説明資料

このたび、当社は平成 26 年 9 月 9 日(火)に日本証券アナリスト協会の主催により、個人投資家向け会社説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

■目的

個人投資家向け会社説明会を通じて、より多くの個人投資家に当社を知っていただくことを目的としております。

説明会では、当社の事業概要と中期計画についてご説明させていただきました。

■概要

開催日時： 平成 26 年 9 月 9 日(火) 14:40 ～ 15:30

会場： 東京証券取引所ビル 6F

ご説明者： 代表取締役社長 杉野 文則(すぎの ふみのり)

※ 次頁以下に当説明会で配布した資料を掲載いたしましたのでご覧下さい。

以 上

株式会社ビーマップ 会社説明資料

2014年9月

株式会社ビーマップ

4316

BeMap Confidential Proprietary

 BeMap 会社概要

- | | |
|------------------------------|---------------|
| ■ 会社名 株式会社ビーマップ | ■ 役員 |
| ■ 所在地 | 代表取締役社長 杉野 文則 |
| 〒101-0047 | 取締役 大谷 英也 |
| 東京都千代田区内神田2-12-5 | 取締役 川内 武 |
| ■ 創立 1998年9月4日 | 取締役 岩渕 弘之 |
| ■ 資本金 1,854百万円 | 取締役 棗田 眞次郎 |
| ■ 株式数 3,210,800株(うち自己株式972株) | 常勤監査役 小山 信行 |
| (1単元 100株) | 監査役 小林 義典 |
| ■ 役員 8名 | 監査役 小林 弘樹 |
| ■ 従業員 67名 | |

※2014年6月30日現在

- 主な取引先
NTTブロードバンドプラットフォーム、
その他NTTグループ各社(NTTルパルク、NTTドコモ、NTT東日本他)、
ジェイアール東日本企画、
ゼンショーHD、日本テレビ放送網、テレビ朝日、毎日放送、ヤフー、
味の素、デンソーコミュニケーションズ、
三光マーケティング他

BeMap Confidential Proprietary

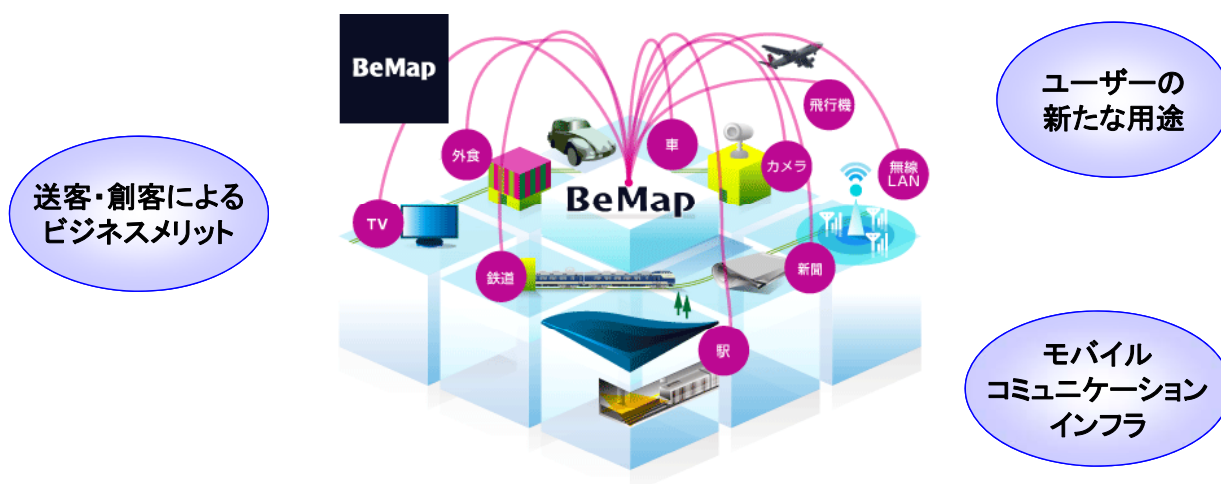
ビーマップの事業ドメインは

多種多様なモバイル端末へのコンテンツサプライを可能にする
ソフトとサービスの提供

Best Mobile Application Producer



～社会インフラ間クロスメディアのハブとなる～

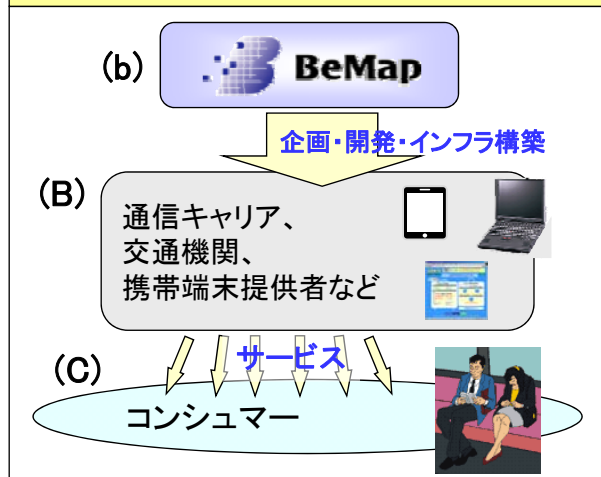


当社は創業以来ずっと、モバイル環境とユーザー用途の進化を見据え、
「近い将来にこうなるであろうITライフ」を創造する先駆者を目指しています。

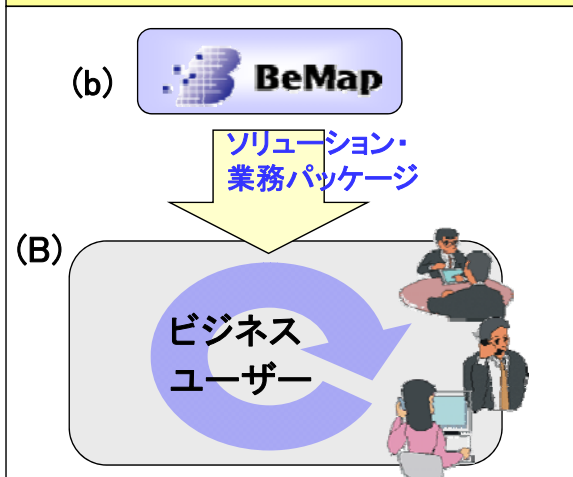
ビーマップの事業領域

2タイプのビジネスモデル

btoBtoC型ビジネス (企画開発運用型)



btoB型ビジネス (ユーザー拡大型)



分野別事業分野

ビーマップ事業分野の全体構成

ビーマップの事業分野

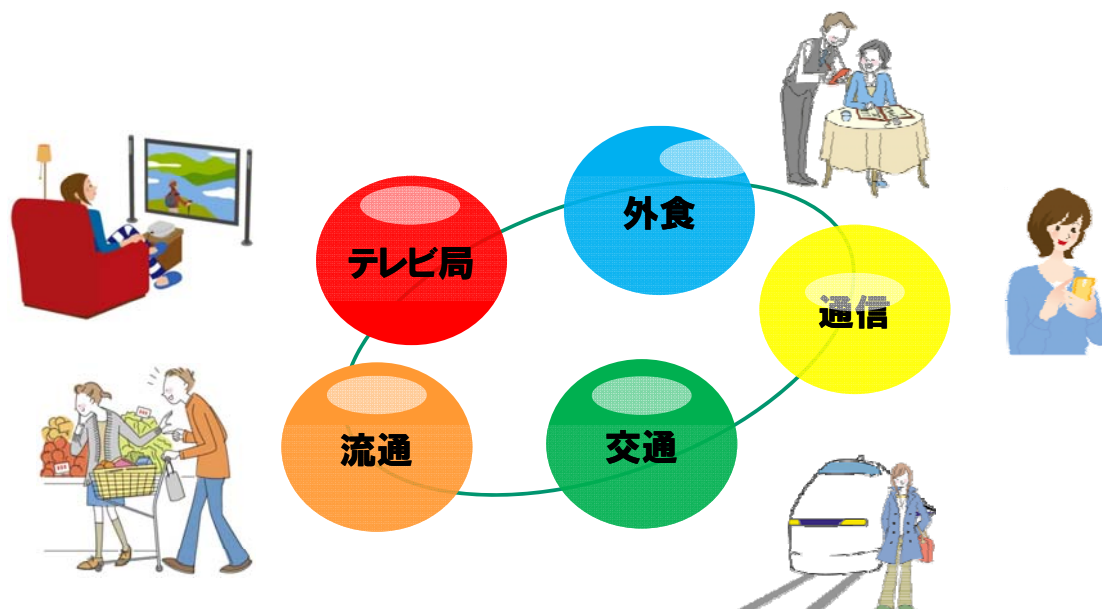
事業セグメント	事業分野	業務内容	事業展開状況
クロスメディア	無線LAN配信 インフラ構築	ー無線LANホットスポットにおけるコンテンツ配信インフラを開発・提供するサービス、業務用パッケージ	ースマートフォン等無線LAN機器の普及で事業拡大を目指す
ナビゲーション	交通関連	ー鉄道等交通機関の乗り継ぎ（経路探索）技術の提供 ーJR東日本予約サイト（えきねっと）への提供	ー「えきねっと」を中心とした開発・運用 ーWi-Fiとの連携により横展開
ソリューション	監視録画システム	ーカメラ付携帯電話への画像転送システムの開発・運用保守 ー遠隔カメラ監視のASPサービス	ーモニタリング倶楽部を営業展開
	TVメタデータの ASP事業	ーTV番組メタデータのASPを構築しbtoBへの展開はかる	ーテレビ局、広告代理店、PCメーカー、ECサイト等へ提供。テレビ局との事業も拡大。

第17期事業年度より、事業分野の見直しを行っております。新設のソリューション事業は、旧モニタリング事業、その他（TVメタデータ、復元古地図）の一部を継承しております。

事業の方向性

異業種連携により新たな事業を創造

各業界のトップ企業をITで繋ぐ事により、新たな事業分野を創造します。
 利用者の生活シーンの様々な場所で「利用者にとって役に立つ情報」を提供し、一環した情報提供サービスを目指します。

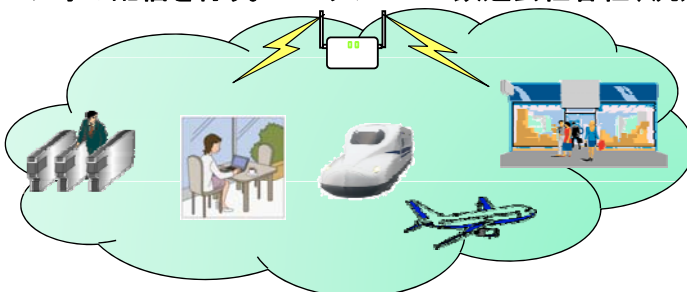


クロスメディア事業

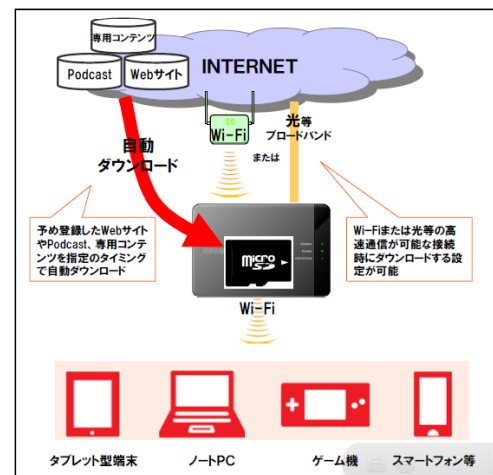
BeMap クロスメディア事業の内容

－無線コンテンツ関連事業①－

- 人口集中地域における通勤・通学手段としての鉄道会社、コンビニ・レストラン等を通してコンテンツ等の配信を行う。NTTグループ・鉄道会社各社、流通他を通しての事業。



※無線スポットは駅周辺から航空機・列車内・コンビニ・外食





－無線コンテンツ関連事業②－

■任天堂DS向け配信システム



コンテンツ例



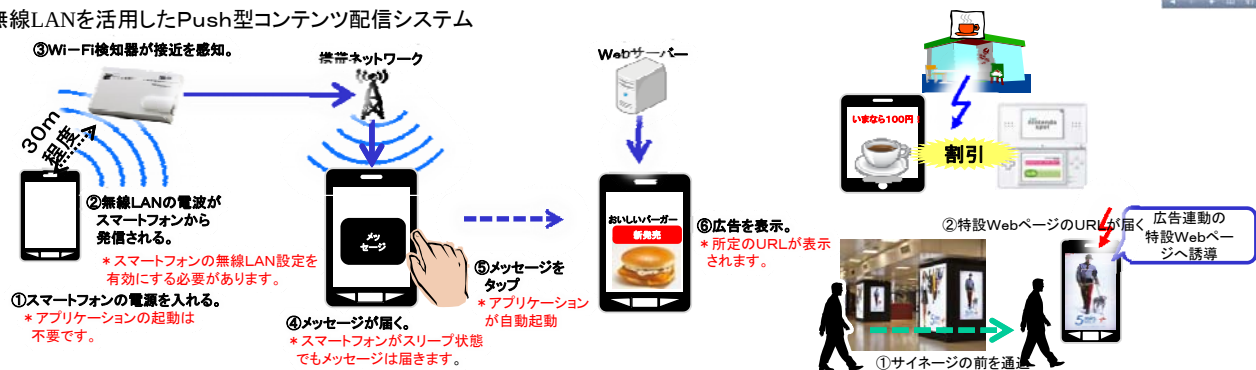
各種スタンプラリー



汎用性の高いコンテンツの拡充に加え、人気のTV番組やフリーペーパー、クイズなど、ホームでの待ち時間に簡単にチェックいただけるコンテンツや、列車内での移動時間にお楽しみいただけるコンテンツを新たに拡充します

■スマートプッシュ

・無線LANを活用したPush型コンテンツ配信システム



ナビゲーション事業

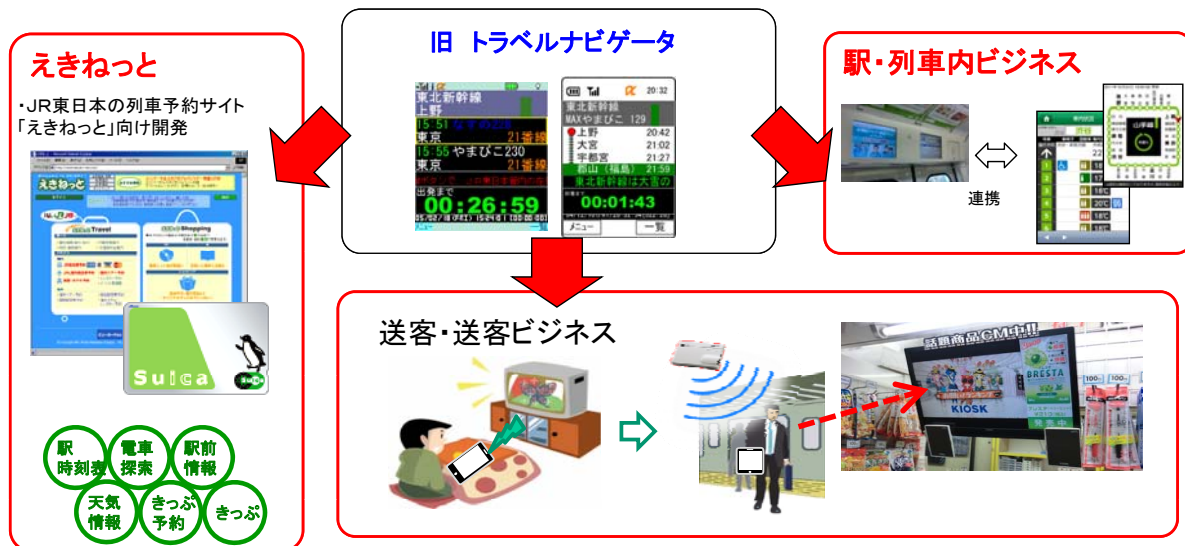


ナビゲーション事業

事業概要

経路探索ソフト トラベルナビゲータの技術・ノウハウをベースにした

- ・JRインターネット予約サイト「えきねっと」の構築・運用
- ・駅周辺ビジネス、列車内サービスの企画・構築・運用



ナビゲーションサービス事業 自動車関連

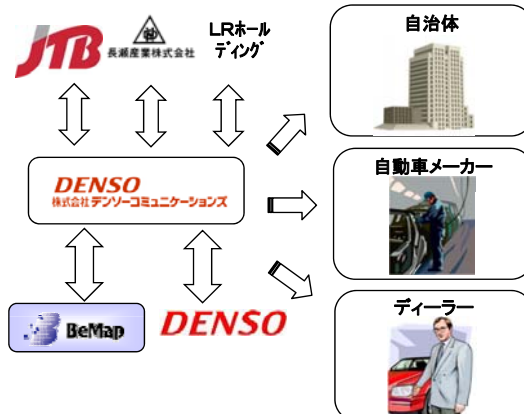
事業概要

デンソー・長瀬産業・JTB・LRホールディングと共にデンソーコミュニケーションズを設立。

自動車旅行支援サイト「びあはーる」を運営。ASPとしての提供事業。

デンソーコミュニケーションズを通しての事業展開。

ドライブポータル



ソリューション事業

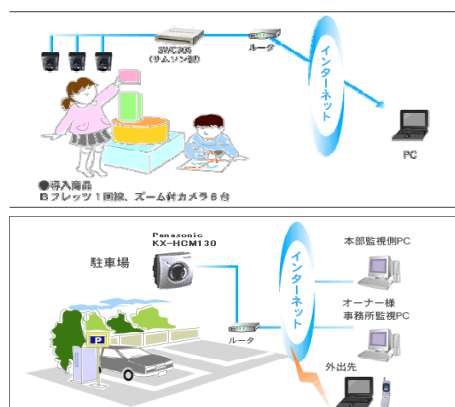
BeMap ソリューション事業① モニタリング

モニタリング

事業概要

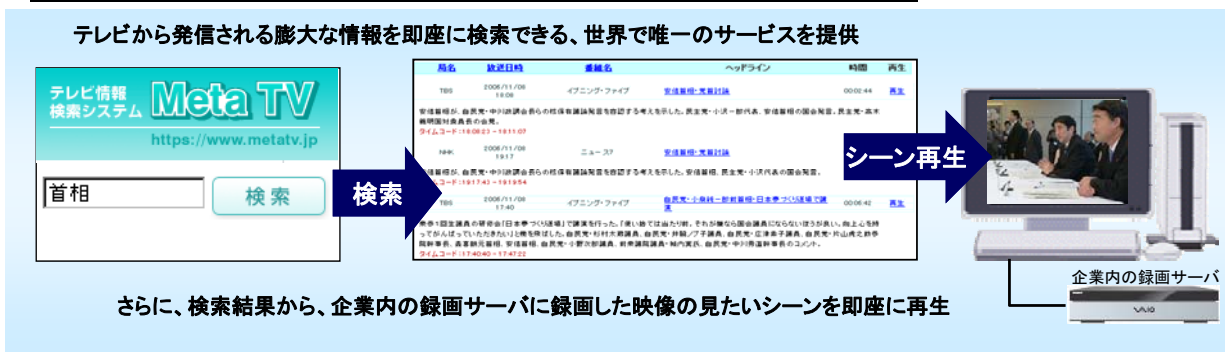
- インターネット／ウェブカメラを活用し遠隔地を監視するシステムを提供。
大手飲食店、コンビニ等へ導入。
- 監視から、画像解析により店舗ソリューションへ展開。商品陳列、商品の欠品を自動解析し
ビジネスチャンスのロスを減らします。

動画配信システムイメージ図

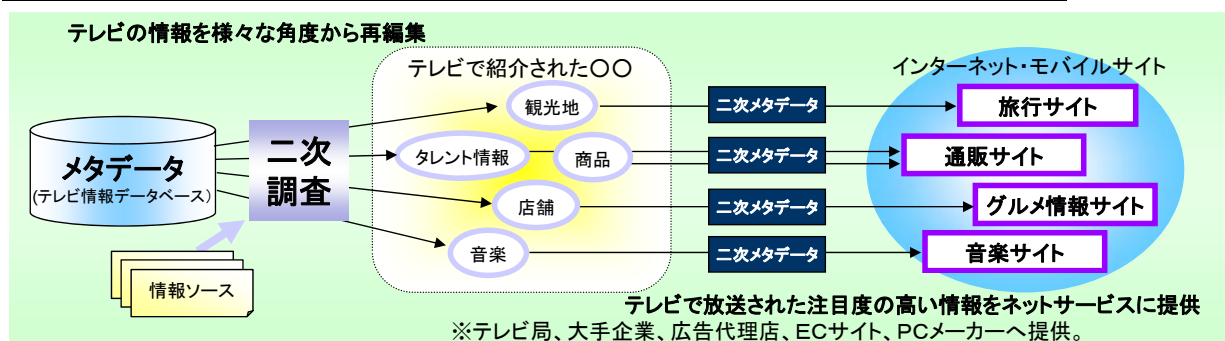


— TVメタデータ —

- **テレビ番組の放送内容をデータベース化 ⇒ テレビ情報検索サービス「MetaTV」**



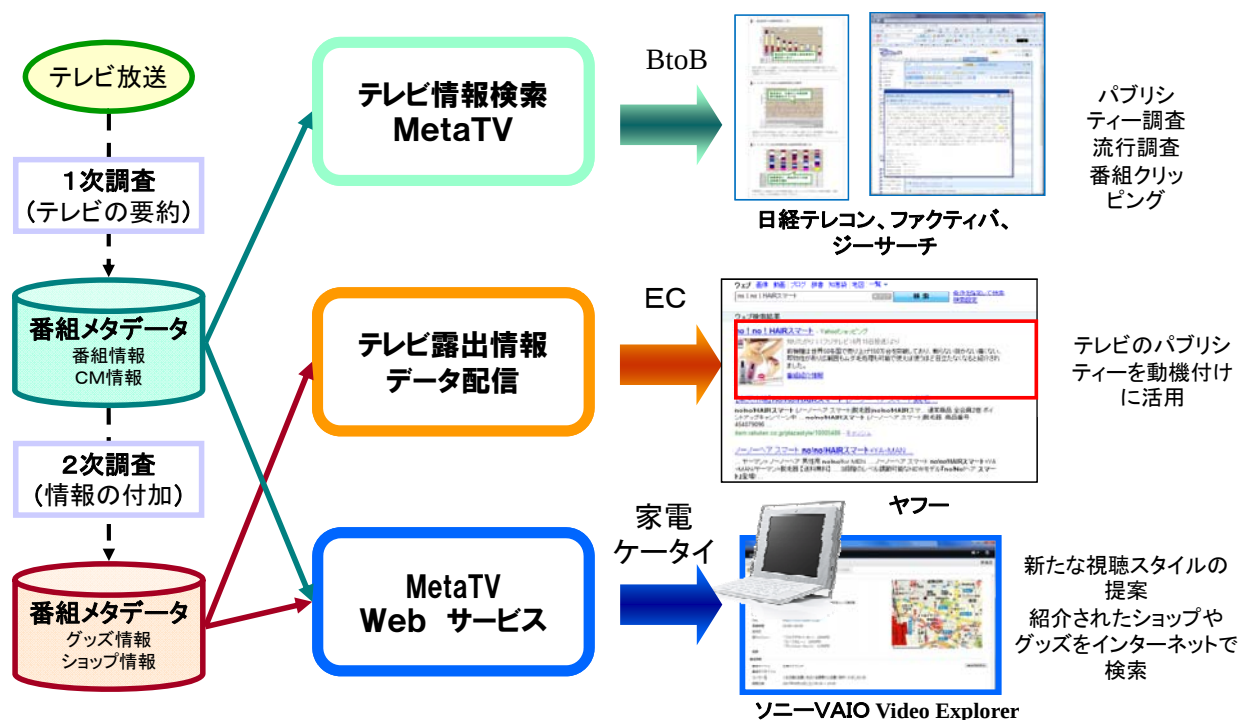
- テレビの情報を再編集し提供 ⇒ ネットとテレビの融合を加速させる「二次メタデータ」



BeMap Confidential Proprietary

18

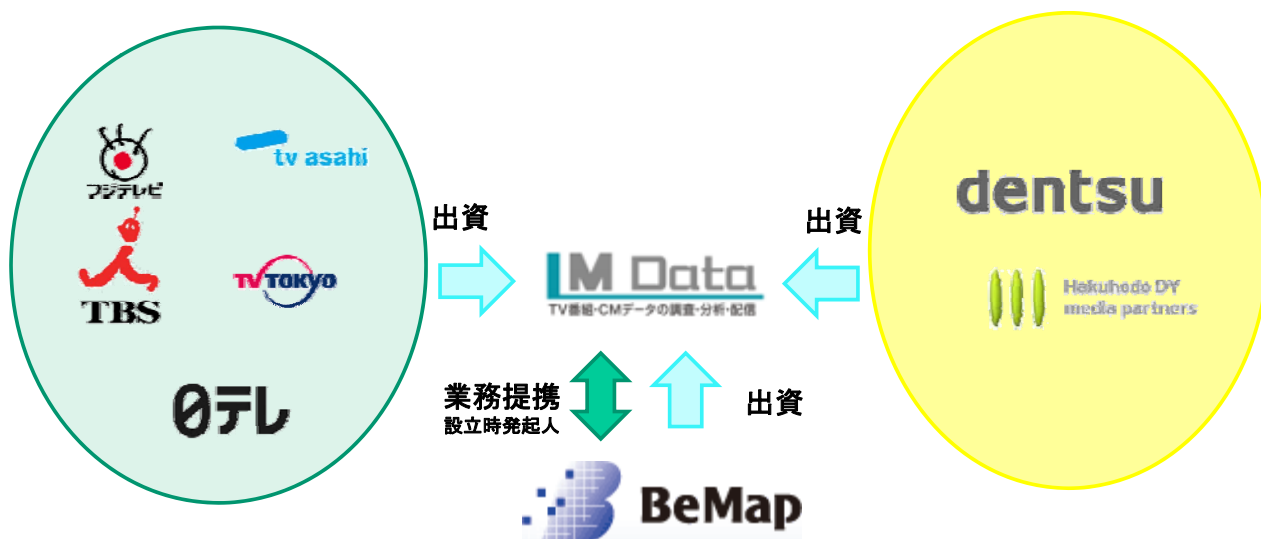
提供するTVメタデータサービス 例



BeMap Confidential Proprietary

19

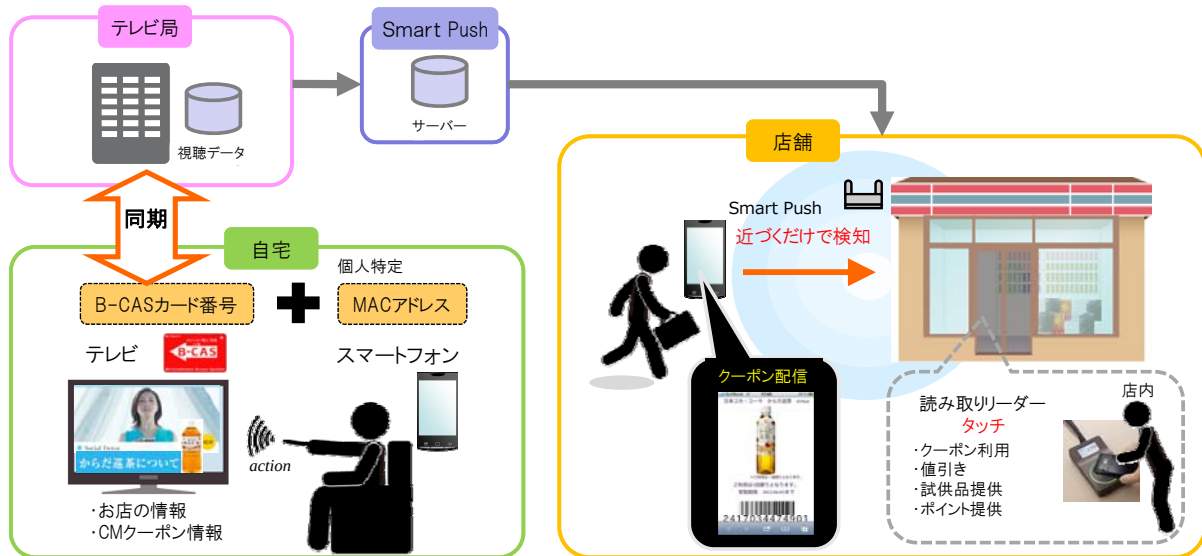
テレビメタデータに関する当社の立ち位置



ビーマップが今後目指す分野

テレビ視聴とWi-Fiを活用した店舗誘導

家庭内のテレビの視聴データと、お手持ちのスマートフォンを事前登録で紐づけておくことで、テレビで放送された番組やCMなどの情報にアクションしておくことにより、スマートフォンを持った状態で店舗に近づいただけでクーポンやお得なサービスが自動配信されます。



放送、通信、生活動線を活用したインフラの構築 On Air to On Line 2 Off Line

- JR 東日本 駅構内での実験では、テレビの放送映像データを、翌日、画像編集して、KIOSK サイネージで放映したところ、売上が数十倍に伸びた。
- キャンペーン後も利用者がリピータになって、通常の数倍は売れ続けている。
- テレビから、生活動線、店舗への放送、通信、生活動線を活用したインフラ構築を目指します。



2015年3月期（第17期）の見通し と中期経営計画

BeMap 前事業年度（2014年3月期）の業績

（単位：百万円）

	2013年3月期	2014年3月期	増減	前期比
売上高	1,273	1,343	70	5.4%
営業利益	74	74	0	0.3%
経常利益	77	75	▲2	▲3.7%
当期純利益	56	104	48	83.3%

※当期純利益については、税効果会計に基づく法人税等調整額を加味した数字であることから、業績評価の指標として用いる際はご留意願います。

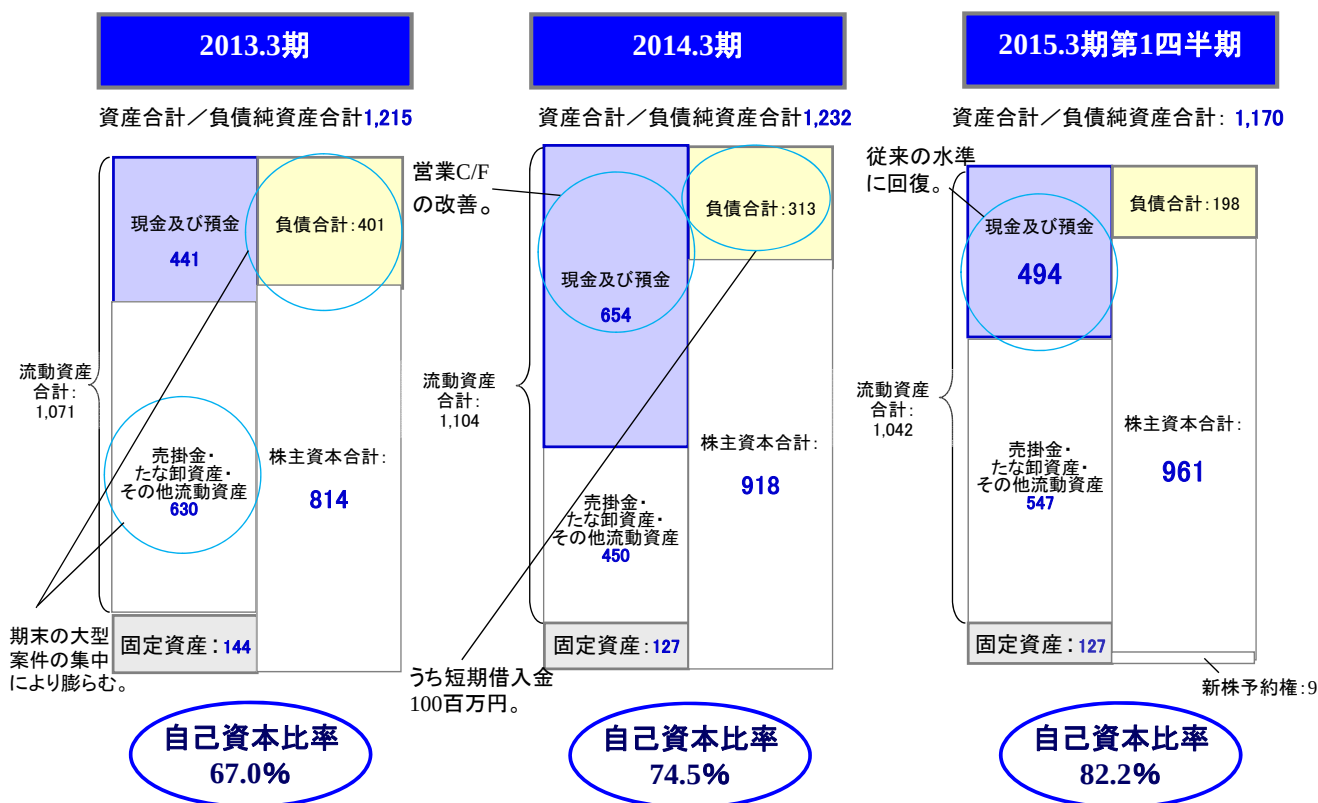
主要トピックス

- 1) 第3四半期会計期間を除き、順調に四半期営業利益を計上
1Q+27百万円、2Q+39百万円、3Q△27百万円、4Q+35百万円
- 2) 事業所（本店）の移転
- 3) 無線LAN事業におけるビジネス機会のさらなる増加
スマートフォンの爆発的ヒット・無線LANホットスポットの拡大に伴い、通信・流通・鉄道事業者、自治体等によるインフラ投資と、サービス企画・構築が活発化。
- 4) o2o2o(OnAir to Online to Offline)サービスへの取り組みを開始
- 5) 「Mobile World Congress 2014」等に当社サービスを出展

	2013.6	2014.6	増減	前期比
売上高	397	501	103	26.2%
営業利益	+27	+77	+50	183.7%
経常利益	+27	+77	+50	181.3%
当期純利益	+52	+43	△9	△18.0%

主要トピックス

- 1) クロスメディア事業が全社収益を牽引
引き続き、インフラ投資・拡張・運用に関わる案件が活発な状況。
大型案件の売上計上により、当初予定を上回る進捗。
- 2) 資本金・準備金の減少及び剰余金の処分(繰欠の一掃)を決定【9月末実施予定】
将来の利益剰余金の状況を見て、株主還元策を検討。
- 3) 税効果会計適用による影響(今第1四半期は、進捗度合いにより法人税等調整額を計上)



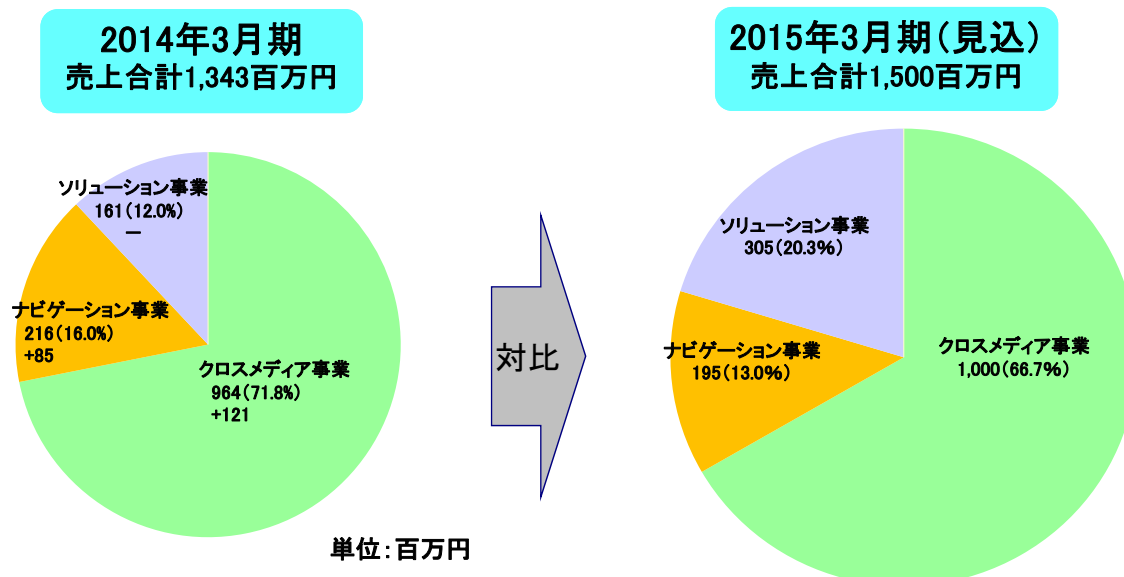


	2014年9月 中間期予想	2015年3月 通期予想	前期実績	前期比
売上高	640	1,500	1,343	+11.7%
経常利益	+30	+90	+75	+19.8%
純利益	+20	+100	+104	△4.4%

売上高	クロスメディア(無線LAN)は引き続き受注環境が活発な状況。大型設備投資案件が一巡し、運用・サービスを重点に取り組む。ナビゲーションの縮小を考慮しても、全体として増収の見込み。
営業利益 経常利益 純利益	製造原価:運用/ASP等は利益率向上見込まれるが、開発等は保守的に想定 販売費・一般管理費:人員増・移転に伴う固定費増は考慮しつつ、抑制に努め、一定の利益を確保する。 繰越欠損金の影響により、税効果会計の見積もりが非常に困難。
リスク	運用・サービス案件へのシフトの遅れ。モニタリングなどの受注減。



前期に引き続き、クロスメディア事業が売上の大きな割合を占める予定。
今後の注力分野として、ソリューション事業に取り組む。



※ソリューション事業は第17期に新設した事業分野であるため、2014年3月期の売上高については、便宜上、クロスメディア・ナビゲーション以外の数値を合算して記載しております。



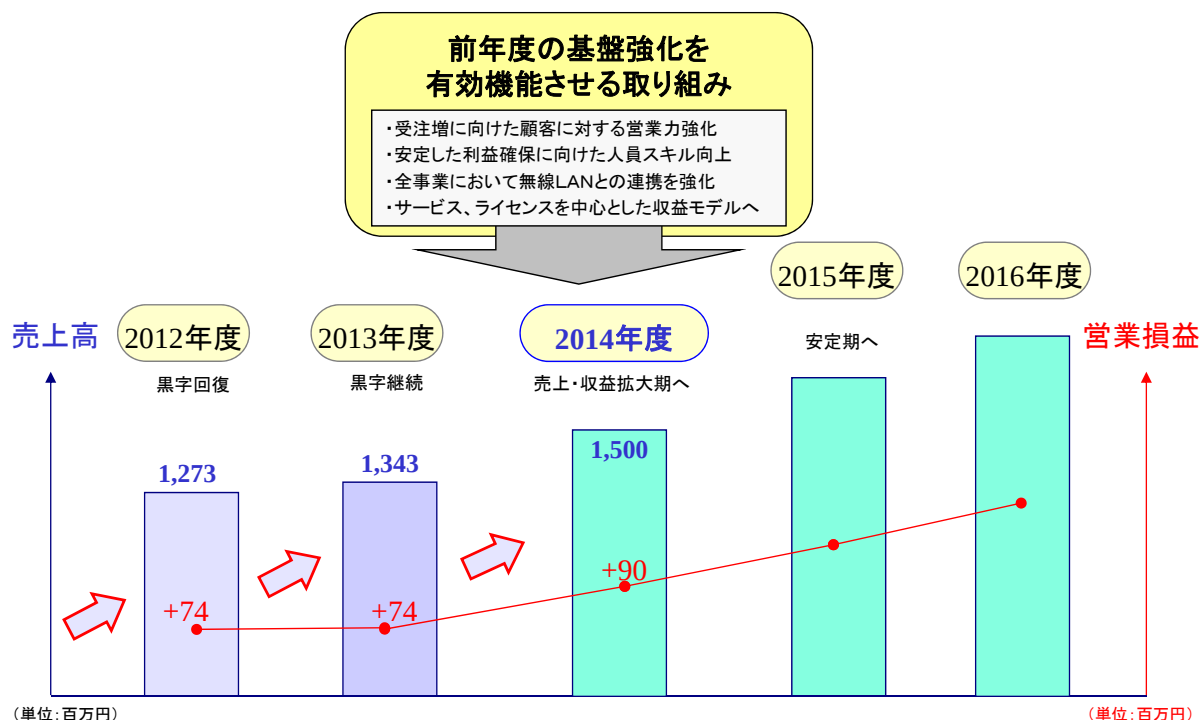
	2014年3月期 実績	2015年3月期 予想	2016年3月期 目標	2017年3月期 目標
売上高	1,343	1,500	1,650	1,800
クロスメディア	964	1,000	1,050	1,100
ナビゲーション	216	195	200	200
ソリューション	※161	305	400	500
営業利益	74	90	120	150
経常利益	75	90	120	150
当期純利益	104	100	130	150

※ ソリューション事業は第17期に新設した事業分野であるため、2014年3月期の実績については、便宜上、クロスメディア・ナビゲーション以外の数値を合算して記載しております。

※ 当期純利益については、税効果会計に基づく法人税等調整額を加味した数字であることから、業績評価の指標として用いる際はご留意願います。



2014年度＝黒字転換を見据えた人員・開発力強化、売上増の体制構築





- 目的 **繰越損失を一掃**することにより
- ・財務体質の早期健全化
 - ・今後の財務戦略上の柔軟性及び機動性の確保 を行う。
- 内容

今回の処分等は、「純資産の部」の勘定の振り替えであり、当社の純資産に変更を生ずるものではなく、また発行済株式総数にも変更はございませんので、1株当たりの純資産額に変更を生じるものではございません。また、株主の皆様のご所有株式数や権利に影響を与えるものではありません。

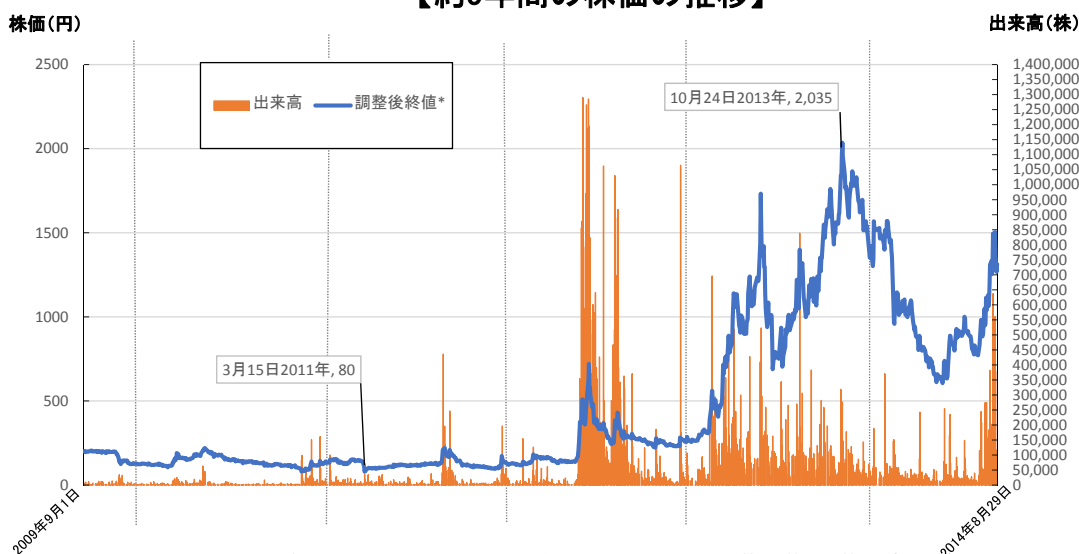
また、配当方針を含む株主還元策については、当社業績が順調に推移する目途が立った段階で検討致します。

	変更前(2014.3末)	①資本金及び資本準備金の額の減少による変動	②資本剰余金の処分による変動
資本金	1,854,247千円	918,077千円	918,077千円
資本準備金	1,480,389千円	振替え 0千円	0千円
その他資本剰余金	0千円	2,416,559千円	振替え及び相殺 0千円
繰越利益剰余金	▲2,416,559千円	▲2,416,559千円	※0千円
【参考】発行済株式総数	3,210,800株	変更無し 3,210,800株	変更無し 3,210,800株
【参考】1株当たり純資産	286円19銭	変更無し 286円19銭	※286円19銭

※2014年5月14日に発表した通り、当第2四半期末において四半期純利益20百万円の計上を見込んでおりますが、上記の表においては考慮しておりません。



【約5年間の株価の推移】



※当社は、2013年5月14日の取締役会決議により、2013年10月1日を効力発生日として、当社普通株式1株を100株に分割いたしました。株価及び出来高につきましては、分割後に換算して表記しています。

【主要財務データ】

時価総額(2014/8/29)	4,216百万円
発行済み株式数(同上)	3,210,800株
PBR(同上)	4.34倍
EPS(2014/3期)	32.53円

総資産(2014/3期)	1,232百万円
純資産(同上)	918百万円
自己資本比率(同上)	74.5%
配当/配当利回り	-/-

本資料は、当社の事業、業績等を説明する為の参考資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

この資料に掲載されている見通し、その他今後の予測・戦略などに関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えなれるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送などを行わないようお願い致します。

本資料に対するお問い合わせ

株式会社ビーマップ
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-12-5 内山ビル4F・5F
経営管理部 IR担当（大谷）